

多々市では、平成19年7月からペットボトル・プラスチック製容器包装の各戸・ステーション回収と、古紙の市内約100か所の公民館回収を行っています。これにより平成17・18年度は7000トン以上排出されていたごみが、平成21年度は5827トン、平成22年度は5760トンとなっており、年々減量しています。しかし市民1人あたりの一日のごみ排出量は、0.7kg（平成22年度）で、まだまだ多い状況です。



毎日の生活から必ず出るごみ。この処分が地球温暖化にも大きくかかわっていることは、みなさん既にご存知の通りです。一人ひとりの意識と行動で、まだまだごみは減らせます。今月は多々市のごみ処理の状況についてお知らせします。一緒に考え、できることから始めてください。



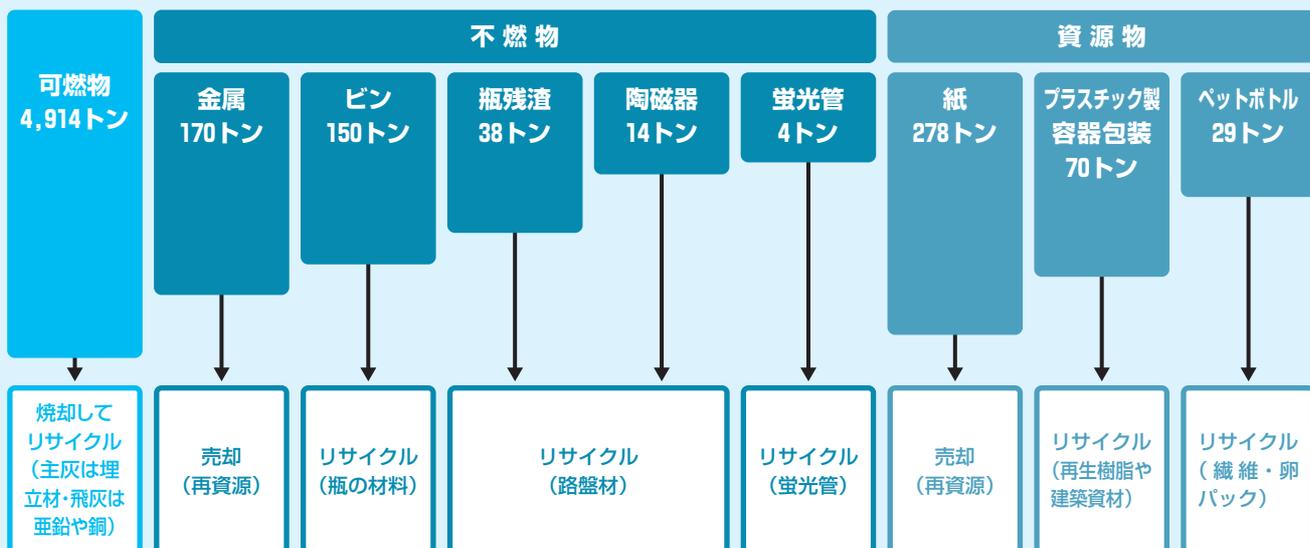
●特集● 多々市ごみ減量

一人ひとりの意識と行動でごみの減量に取り組もう！

家庭から出たごみはどのように処理されているでしょうか。

清掃センターに集めたごみは、すべてリサイクルされています。下表は多々市の平成22年度1年間のごみの種類ごとの収集量と処理方法です。（可燃物は焼却後に出る灰（主灰・飛灰）をリサイクルしています）

★1年間の多々市のごみの量は



このように処理されます



平成22年度に出された不燃物のビンや資源物のペットボトル、プラスチック製容器包装は、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に委託し、次のような製品に生まれ変わっています。

（公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ホームページより）

- ガラスビン茶色（73トン） → ガラスビン
- ガラスビン無色（67トン） → ガラスビン
- ガラスビンその他（10トン） → 路床、路盤、土壌改良用骨材
- プラスチック製容器包装（70トン） → パレット、プラスチック板、再生樹脂、棒・杭、園芸農業用資材
- ペットボトル（29トン） → 繊維、シート、ボトル、成形品、その他（結束バンドなど）

